

(第143期) 2025年11月期

事業報告書

2024年12月1日から2025年11月30日まで



NACHI

株式会社 不二越

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2025年11月期(2024年12月1日から2025年11月30日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経営環境

当社グループをとり巻く環境は、自動車分野は後半において緩やかな回復が見られるものの、米国の通商政策や物価上昇、中国経済の低迷、ロシア・ウクライナおよび中東地域における地政学リスクの長期化、金融資本市場の変動など先行き不透明な状況が継続しております。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、中長期的な脱炭素・EV化をはじめとする産業構造の大変革を見据え、ロボットを核に、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての長をを活かし、ユーザーのものづくりに寄与する新商品の開発や技術提案を行うとともに、米国を中心に営業拠点の更なる拡充など、受注・売上の拡大にとり組んでおります。また、利益の改善に向けて、設備や人員の適正化、標準ベアリングの集約生産、さらには全部門を対象とした合理化、内製拡大など、事業全般の構造改革をより一層推進しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、自動車分野においては国内の一部メーカーで生産が緩やかに回復したものの、中国での設備投資計画の見直し、建設機械分野における国内の需要低迷の影響を受け、2,359億3百万円(前期比1.7%減)、このうち、国内売上高は1,159億65百万円(同1.3%減)、海外売上高は1,199億38百万円(同2.0%減)となりました。

利益面につきましては、ロボット、特殊鋼などで操業度が悪化しましたが、構造改革による固定費の削減、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁、生産ラインの自動化・合理化、調達コストダウンにとり組んだ結果、営業利益は97億73百万円(同47.3%増)、経常利益は83億70百万円(同97.6%増)となりました。また、資本効率の向上をはかるために政策保有株式の縮減を推し進め、投資有価証券売却益として31億28百万円を特別利益に計上、一方で余剰設備や人員の適正化を推し進め、構造改革費用として31億18百万円を特別損失に計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は52億50百万円(同56.7%増)となりました。

配当金

期末配当金につきましては、連結業績、配当性向などを総合的に勘案し、1株につき100円とさせていただきます。

今後の取り組み

今後の事業環境につきましては、当社の主要な事業領域である自動車分野では、先進国および中国を中心にカーボンニュートラルに向けたEV化、さらには、AIやデジタル技術を融合させた自動車開発が進展するなど大きな変革期にあります。そして、産業機械分野も含め、ものづくりのDX・AIによる商品開発や生産性向上、生成AIの活用、SDGsをはじめとした社会・環境問題への対応の要求などが高まっております。

当社グループといたしましては、このような産業構造の大変革に対し、中長期的な成長と企業価値の向上に向けて、ロボットを事業成長の中核に据えて、成長市場であるアメリカ、そしてインドを中心に高付加価値のものづくりとソリューションを提供してまいります。営業・サービス、製造・調達、研究開発の各面で体質を強化して、市場の動き・ニーズを捉え、競争力のある商品・サービスを拡販してまいります。さらに、需要の変化に対応する世界の工場再編や、自動化・合理化により生産性を高め、業績の一層の向上に努めてまいります。そして、事業活動を通して、環境・社会・ガバナンスなどの課題にとり組み、持続的な企業成長を目指してまいります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年2月

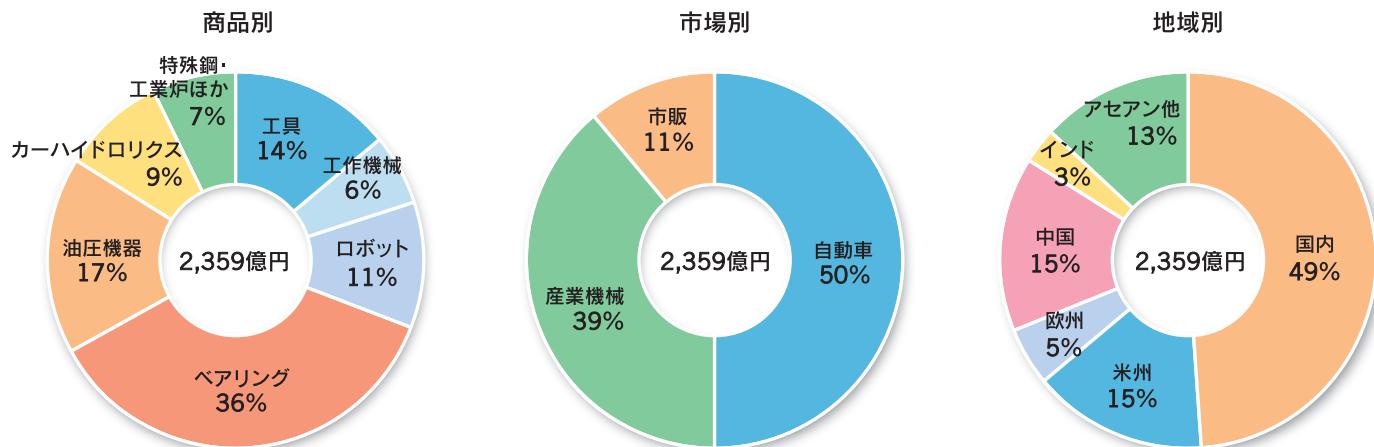


代表取締役 社長執行役員

中村 成利

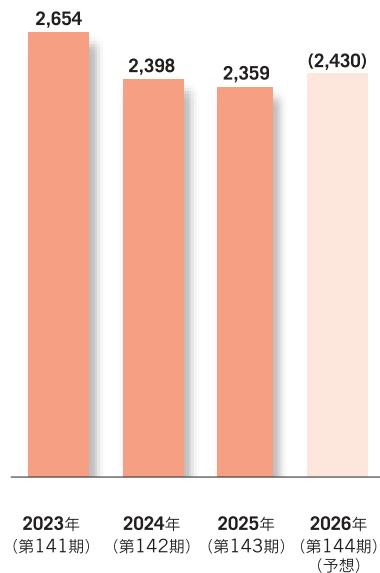
業績の概要(連結)

売上高の構成

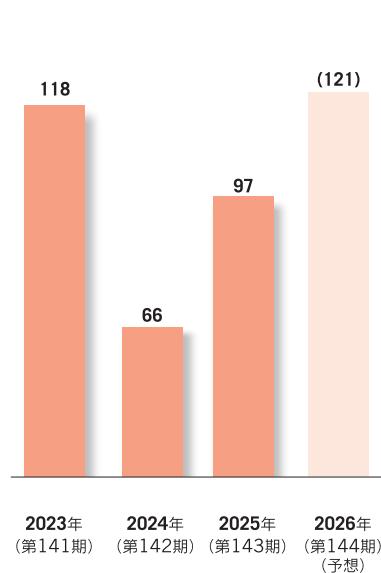


業績の推移

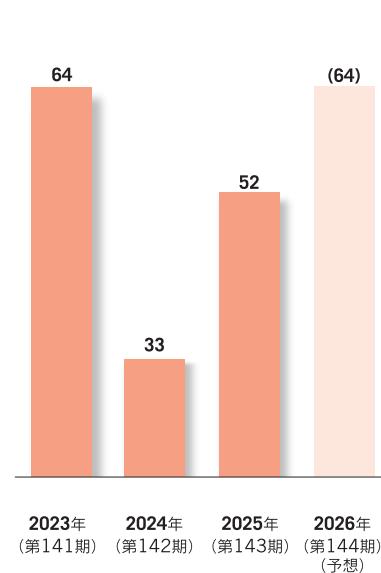
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



経営方針の転換

事業環境の変化を見据え、高い市場成長が期待できるロボット事業を当社の中核に据えて経営資源を重点投入する方針へ転換、中長期的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

1. ロボットを会社の中核へ

先進国の少子高齢化によるものづくりの人手不足などを背景に高まる自動化ニーズを捉え、ロボット事業を核とした業績改善を進めてまいります。加えて、AI人材の強化・育成に取り組み、AIとロボットを融合した自律型ロボットの開発に注力します。

人感知で自ら止まるぶつからないロボット 「新型協働ロボット MZS05」

人の接近を検知し、人にぶつかる前に止まる「MZS05」です。
当社が目指す自律型ロボットの第一歩として、独自のセンサーを搭載。



2025年12月に開催された「2025国際ロボット展」では「MZS05」をはじめとする新商品を当社ブースで紹介し、多数のご来場を賜りました。



○不二越公式Youtubeチャンネル開設



当社は、公式Youtubeチャンネルを開設しました。
当チャンネルでは、主に当社製品の紹介や展示会に関する動画を発信しております。

今後も、コンテンツの充実に努め、皆様に有益な情報を提供してまいります。Youtubeページは「不二越公式チャンネル」で検索頂くか、QRコードをスキャンして、ご覧ください。

不二越公式チャンネル



2. 受注拡大

営業体制の強化、新商品の拡販により売上高を拡大し、更なる利益の積み上げに取り組んでまいります。

○営業体制の強化

成長市場と位置付けたアメリカ、インドでの営業体制強化に向けて、2025年にサンノゼ、ダラスに営業拠点を新設しました。また、インドでも西部のプネに営業拠点を新設し、ロボットをはじめ全商品を拡販します。



ナチアメリカ



ナノテクノロジーインド

○新商品の拡販

当社独自の技術・ノウハウを活かしたオンリーワン商品の開発で新たな需要を創出し、受注を拡大してまいります。



「LAアクアREVOシリーズ」

現場の困りごとに応じて、CNC自動旋盤用に工具の長さを最適化。工具選定や段取り替えの手間を省き、ユーザーの生産性向上に貢献。



「エアスカイピングシステム」

切削油剤を使用しないドライ加工時の工具寿命の大幅な向上を実現。スカイピング加工の課題であった工具費用を低減。

3. 構造改革

軸受部門を中心に最適地生産の考え方で生産集約による利益改善を進めております。標準ラジアル軸受のタイ生産集約に続き、自動車向け特殊軸受を日本へ、産業機械向け精密軸受を中国国内で生産移管するなど、グローバルで生産拠点の再編に取り組んでおります。

タイ工場



標準ラジアル軸受

富山事業所



自動車向け特殊軸受

中国工場



産業機械向け精密軸受

財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2024年11月30日現在)	当期 (2025年11月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	170,438	168,690
現金及び預金	34,263	32,204
受取手形、売掛金及び契約資産	54,049	53,561
電子記録債権	8,700	8,559
棚卸資産	67,162	68,292
その他	6,262	6,072
固定資産	164,319	162,604
有形固定資産	115,563	108,875
建物及び構築物	32,189	31,749
機械装置及び運搬具	64,602	58,004
土地	10,218	10,603
その他	8,553	8,516
無形固定資産	4,282	4,025
投資その他の資産	44,473	49,703
資産合計	334,757	331,295

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2024年11月30日現在)	当期 (2025年11月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	93,848	80,696
支払手形及び買掛金	15,396	15,478
電子記録債務	23,305	16,891
短期借入金	28,210	21,226
その他	26,936	27,099
固定負債	76,243	76,347
長期借入金	52,853	51,987
退職給付に係る負債	8,662	8,066
その他	14,726	16,294
負債合計	170,091	157,044
(純資産の部)		
株主資本	130,628	131,701
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,543	13,347
利益剰余金	111,352	114,300
自己株式	△ 8,343	△ 12,021
その他の包括利益累計額	28,205	38,895
非支配株主持分	5,831	3,652
純資産合計	164,665	174,250
負債及び純資産合計	334,757	331,295

連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2023年12月1日から 2024年11月30日まで)	当期 (2024年12月1日から 2025年11月30日まで)
売上高	239,892	235,903
営業利益	6,636	9,773
経常利益	4,236	8,370
特別利益	4,877	3,153
特別損失	4,384	3,411
税金等調整前当期純利益	4,729	8,112
親会社株主に帰属する当期純利益	3,351	5,250

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2023年12月1日から 2024年11月30日まで)	当期 (2024年12月1日から 2025年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,458	17,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,631	△ 5,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,359	△ 15,915
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,066	△ 2,400
現金及び現金同等物の期首残高	32,824	31,758
現金及び現金同等物の期末残高	31,758	29,357

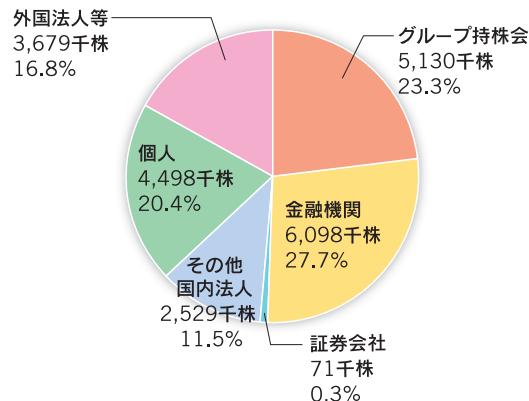
株式の状況 (2025年11月30日現在)

発行済株式の総数 24,919,343株
株主数 16,412名
大株主(上位5名)

(注)持株比率は自己株式(2,911千株)を控除して計算しています。

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
那智わねい持株会	2,800	12.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,910	8.68
ナチ不二越従業員持株会	1,330	6.05
ナチ取引店持株会	998	4.54
日本生命保険相互会社	793	3.60

所有者別株式分布



取締役 (2026年2月25日現在)

取締役 相談役 本間博夫	取締役 常務執行役員 国崎晃	取締役(常勤監査等委員) 小林昌行
代表取締役 社長執行役員 中村成利	取締役 執行役員 實島章	社外取締役(監査等委員) 山崎昌一
取締役 常務執行役員 古澤哲	取締役 執行役員 小林修介	社外取締役(監査等委員) 澤近泰昭
取締役 常務執行役員 澤崎裕一	社外取締役 石垣聖二	社外取締役(監査等委員) 後藤恵実

会社の概要 (2025年11月30日現在)

設立	1928年12月21日	資本金	160億円	従業員数	2,965名(グループ人員6,532名)
主要な事業内容	機械工具事業 切削工具、塑性加工工具、切断工具、工作機械、機械加工システム、ロボット、ロボットシステム 部品事業 ベアリング、油圧機器、カーハイドロリクス その他の事業 特殊鋼、コーティング、工業炉				
主な国内事業所	本社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 Tel. 03-5568-5111 富山事業所 富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 [工具 工作機械 ベアリング ロボット] Tel. 076-423-5111 東日本支社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 中日本支社 名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル 〒465-0095 西日本支社 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル5F 〒530-0005 東富山事業所 富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼] / 富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器] 滑川事業所 富山県滑川市大掛176 〒936-0802 [工具 油圧機器 カーハイドロリクス コーティング 工業炉]				
主な海外事業所	NACHI AMERICA INC. (アメリカ) NACHI EUROPE GmbH (ドイツ) 不二越(中国)有限公司 那智不二越(江蘇)精密機械有限公司(中国) NACHI TECHNOLOGY (THAILAND) CO., LTD. (タイ)				

株主メモ

証券コード	6474
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会開催時期	2月
基準日	定時株主総会・期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 郵便物送付先 お問い合わせ窓口	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページアドレス	https://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

■配当金の「口座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめします。

口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

株式数比例配分方式 お取引の証券会社の証券口座で、お受け取りいただく方式(証券会社に口座がない株主様は、ご利用いただけません)

登録配当金受領口座方式 ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座で一括して、お受け取りいただく方式(ゆうちょう銀行の口座は、ご指定いただけません)

個別銘柄指定方式 ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定し、お受け取りいただく方式

■株式に関するお手続きについて

1. 配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買増・買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申し出先について

株主様のお取引のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙の写真

人の接近を検知するセンサーを内蔵し、ぶつかる前に停止する協働ロボット「MZS05」です。

従来の協働ロボットよりも格段に向上した安全性能とクラストップレベルの高速・高精度でロボットの活用分野を拡大し、自動化ニーズを取り込んでまいります。